

報告区の状況 ～統計や医療・介護に関して～

<報告区>

1. 北 区
2. 都 島 区
3. 港 区
4. 大 正 区
5. 西淀川区
6. 東淀川区
7. 東 成 区
8. 生 野 区
9. 旭 区
10. 住 吉 区
11. 東住吉区

1. 区プロフィール 2. 統計からみる区の状況 ①主要統計指標 ②高齢化指標 ③区の水準 ④区の高齢化の特徴	3. 区の地図 4. 地域の状況 5. 地域資源情報 6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）
--	--

1. 北区

1. 北区プロフィール

特徴	北区は大阪の玄関口に位置し、三方を河川に囲まれ、区の中心部であるJR大阪駅周辺は超高層ビルが並びビジネス街であり、西日本最大の地下街とあわせ大規模なショッピング街となっている。また、北区天満界域は大阪におけるガラス発祥地でもあり、伝統工芸・文化の担い手である職人たちも数多く存在する。東部の大川沿いは桜の名所であり、南部の中之島は国の重要文化財指定である大阪市中央公会堂がある。西部の梅田地区、大阪駅北地区は、複合商業施設で賑わっている。
トピックス	北区役所では、全日本不動産協会大阪府本部北支部、大阪府宅地建物取引業協会北支部、北区地域振興会と協力関係を築き、誰もが住みたいまちをめざしている。 地域住民の生活課題の早期発見を行い、対応が困難な福祉・医療等の知識や経験が必要とされるケースに対して専門的な支援体制作りを行うため、平成27年度から地域福祉コーディネーターを各小地域に配置し、住民主体の福祉コミュニティづくり推進事業を進めている。

2. 統計からみる北区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

① 主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	129,412人	7	面積	10.34 km ²	7
人口密度	12,516人/km ²	18	世帯数	77,956世帯	5

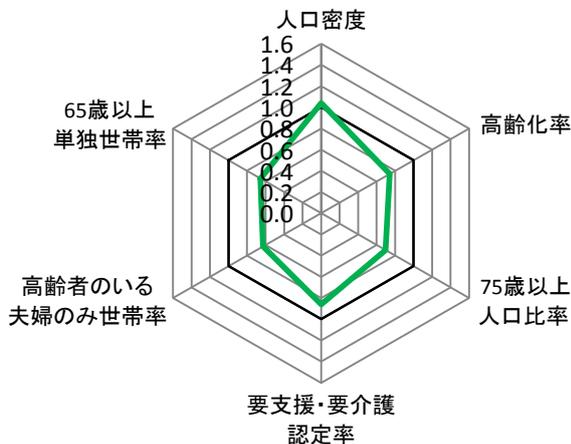
② 高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	24,714人	14	高齢化率	19.1%	22
65～74歳人口	13,074人	12	75歳以上人口	11,641人	15
65～74歳人口比率	10.1%	21	75歳以上人口比率	9.0%	21
要介護認定者数 ^{※1} (認定率)	5,044人	17	認知症高齢者数(65才以上) ^{※2}	1,207人	16
	21.2%	22	認知症高齢者数(75才以上) ^{※2}	1,102人	16
65歳以上単独世帯数 ^{※3} (世帯率)	7,209世帯	12	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ^{※3} (世帯率)	4,013世帯	15
	9.7%	21		5.4%	21

※1：平成29年9月末 ※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

※3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

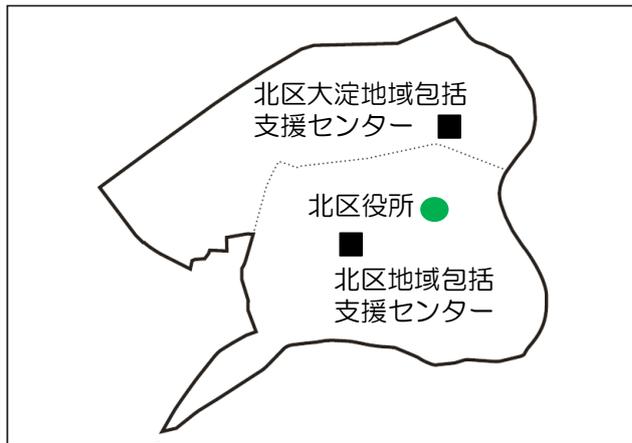
③ 北区の水準（大阪市=1とした指数）



④ 北区の高齢化の特徴

- 高齢化率は19.1%で市内22位と低い
- 65～74歳人口比率、75歳以上人口比率とも21位と低い。
- 65歳以上単独世帯率が9.7%、65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯率5.4%と低い。
- 認定率は市平均よりも低く22位である。
- 各指標は全体的に大阪市の水準に比べて低く、高齢化が進んでいない区域である。

3. 北区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

- 福祉関連では、区内にCSW(コミュニティ・ソーシャル・ワーカー)を配置し、各地域の地域福祉コーディネーターやまちともサービスサポート会員等と連携して個々の生活課題、福祉課題の早期発見に努めた。また、様々な専門機関と連携し、早期支援、解決を行う体制を構築し、住民主体の福祉コミュニティづくりを進めている。
- 北区の全 19 地域において地域活動協議会が形成されており、地域住民、地域団体等が、これまで培われてきた人と人との「つながり」や「きずな」を礎にしながら、自律的な地域運営に取り組んでいる状態である。

5. 地域資源情報

①地域資源の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	2 か所	連合町会数 (H27 国勢調査)	19 団体
総合相談窓口 (ランチ)	3 か所	民生委員・児童委員	163 人
老人クラブ数	22 団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	80	介護老人福祉施設	5	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	0			夜間対応型訪問介護	1
訪問看護	23			地域密着型通所介護	19
訪問リハビリテーション	1	介護老人保健施設	2	認知症対応型通所介護	1
通所介護	9			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	6			認知症対応型共同生活介護	4
福祉用具貸与	16	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	5			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	2			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	56				

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	0 か所	在宅療養支援歯科診療所	26 か所
在宅療養支援診療所	30 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	92 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■はつらつ脳活性化プロジェクト事業

高齢者が自ら認知症予防のための活動を習慣化できる地域づくりを目指し下記事業を平成 22 年度から実施している。

- ①はつらつ脳活性化教室：認知症予防を目的に百歳体操+脳活性化レクリエーションを組み合わせた内容として平成 29 年 9 月末現在 10 地域で開催している。
- ②はつらつ脳活性化教室サポーター養成講座：認知症やその予防に関する基礎的な講義、はつらつ脳活性化教室に沿った講義と演習を行い、地域での教室を運営する人材を育成する。
- ③はつらつ脳活性化教室サポーターレベルアップ講座：サポーターの活動意欲を高め、サポーターの活動の充実をはかる機会とする。
- ④はつらつ脳活性化サポーター支援チーム：地域継続できるための課題を抽出、プロジェクトの実践を支援する会議を年 3 回開催している。

2. 都島区

1. 都島区プロフィール

特徴	都島区は大阪市の北東部に位置し、西側を大川に沿って南北に長く、北側を淀川に、南側は寝屋川にそれぞれ接している。かつて京街道の起点に近く、交通の要衝として賑わった京橋地域は今もなお、JR 環状線・学研都市線・東西線、京阪電鉄、地下鉄長堀鶴見緑地線が相互に連絡し、大阪東部の玄関口として、また商業のまちとして知られている。リバーサイドともぶちや大型高層住宅群バルパークの建設を契機に、都心に近接した交通の便の良い理想的な住宅地としての価値が見直され、マンション建設・市街地再開発が加速し、着実な発展を続けている。
トピックス	都島区では、中野町の市電都島車庫跡地及び旧国鉄淀川貨物線跡地には、総合医療センターや保健福祉センター分館、スポーツセンターなどの公共施設が整備され、都心に近く居住環境に優れたまちなみが誕生している。 平成 30 年度末までに JR「おおさか東線」が延長され、新しい駅が設置される予定である。

2. 統計からみる都島区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	106,523 人	13	面積	6.08 km ²	18
人口密度	17,520 人/km ²	5	世帯数	53,790 世帯	13

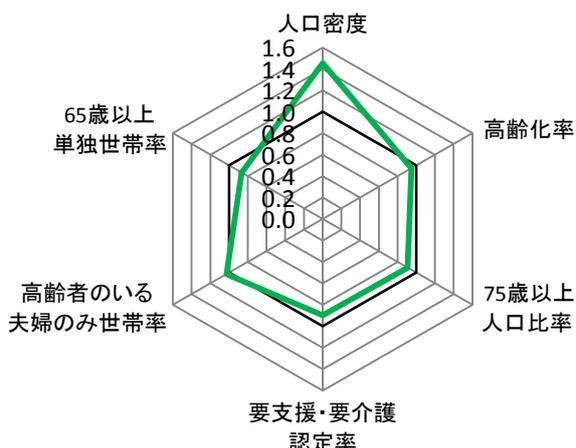
②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	26,010 人	12	高齢化率	24.4%	16
65～74 歳人口	13,515 人	10	75 歳以上人口	12,495 人	13
65～74 歳人口比率	12.7%	13	75 歳以上人口比率	11.7%	16
要介護認定者数 ^{※1}	5,511 人	13	認知症高齢者数（65 才以上） ^{※2}	1,287 人	13
（認定率）	22.0%	19	認知症高齢者数（75 才以上） ^{※2}	1,143 人	14
65 歳以上単独世帯数 ^{※3}	6,619 世帯	13	65 歳以上高齢者のいる夫婦	4,566 世帯	12
（世帯率）	12.9%	17	のみ世帯数 ^{※3} （世帯率）	8.9%	14

※1：平成 29 年 9 月末 ※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年 4 月 1 日現在）

※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

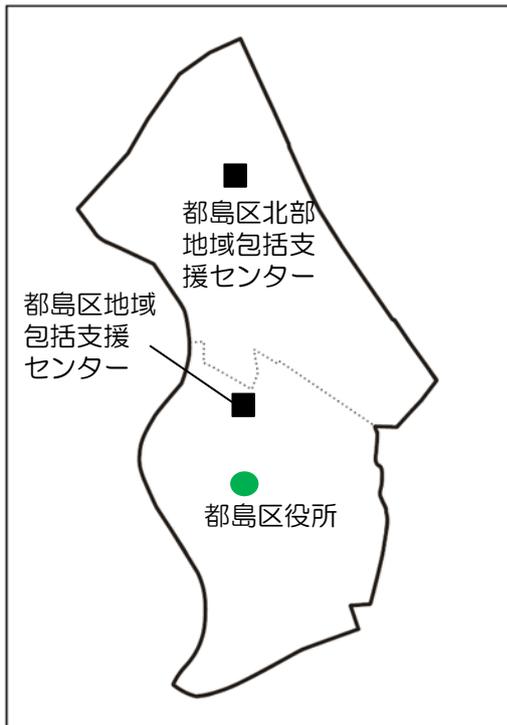
③都島区の水準（大阪市=1 とした指数）



④都島区の高齢化の特徴

- 高齢化率は 24.4% で 16 位となっている。
- 65～74 歳人口比率は 13 位、75 歳以上人口比率は 16 位となっている。
- 認定率は 19 位と低い。
- 65 歳以上の単独世帯率は 17 位で市平均よりも低いが、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は 14 位と市平均に近い。
- 各指標は概ね市平均を下回り、比較的高齢化は進んでいない区域である。

3. 都島区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

- 防災・防犯など安全・安心を礎に、活力ある地域社会づくりに向け、地域の見守りネットワークの強化に取り組んでいる。
- いきいきと健康に暮らせるまちづくりでは、「地域福祉コーディネート事業」で「要援護者の見守りネットワーク強化事業」と連携するため活動時間を拡充するなど、身近な相談体制や見守り活動を強化し、相談件数も増加している。

5. 地域資源情報

①地域の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区 分	件 数
地域包括支援センター	2 か所
総合相談窓口（ランチ）	3 か所
老人クラブ数	52 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	9 団体
民生委員・児童委員	132 人

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス		件数	施設サービス		件数	地域密着型サービス		件数
訪問介護		49	介護老人福祉施設		3	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	
訪問入浴介護		1				夜間対応型訪問介護	0	
訪問看護		14				地域密着型通所介護	18	
訪問リハビリテーション		2	介護老人保健施設		3	認知症対応型通所介護	3	
通所介護		15				小規模多機能型居宅介護	2	
通所リハビリテーション		5				認知症対応型共同生活介護	7	
福祉用具貸与		13	介護療養型医療施設		0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	
短期入所生活介護		4				地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0	
短期入所療養介護		3				複合型サービス	1	
特定施設入居者生活介護		6						
居宅介護支援		48						

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区 分	件 数	区 分	件 数
在宅療養支援病院	1 か所	在宅療養支援歯科診療所	8 か所
在宅療養支援診療所	22 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	55 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■地域福祉コーディネート事業

高齢者をはじめとした地域住民のための身近な相談窓口として、地域福祉コーディネーターを区内各地域に配置している。地域住民からの多様な相談を関係機関につないだり、食事サービスやふれあい喫茶等に参加して参加者同士の顔の見える関係づくりに努めている。また、地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業における、名簿整理や訪問等の支援を行っている。

■健康づくりのつどい（健康展）

医師会等の地域の各団体と共同して、健康づくりに関するブースの出展を行うイベントを年 1 回実施している。

3. 港区

1. 港区プロフィール

特徴	港区は安治川と尻無川にはさまれた水運にめぐまれた地域であり、さらに明治 36（1903）年、築港大棧橋の完成と市電の開業により、大阪の海の玄関口として大きく発展してきた。近年、港湾機能の中心は天保山から南港などに移ったが、ウォーターフロント開発により天保山に「海遊館」をはじめとする集客施設が集積するとともに、弁天町駅前には「オーク 200」の超高層ビル群が建ち並ぶなど、にぎわいの拠点づくりが進んできた。また、「大阪市中央体育館」「大阪プール」が建つ、国際的スポーツの一大拠点となっている。
トピックス	港区は、住民同士の交流が活発な下町の情緒あふれる住宅地でもある。地域の神社などでの祭りも盛んで、また地域と学校とのつながりが強く、子どもの安全を守るための活動に地域全体で取り組んでいる。「いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち 港区の実現」を目標に、豊かなコミュニティの形成や多様な協働による活力とうるおいのある地域社会の実現に向けて、区内の実情や特性に即した施策・事業を総合的に展開し、まちづくりを推進するとともに、区民が利用しやすい親切で信頼される区役所づくりを進めている。

2. 統計からみる港区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	81,065 人	19	面積	7.86 km ²	15
人口密度	10,314 人/km ²	20	世帯数	40,505 世帯	20

②高齢化指標

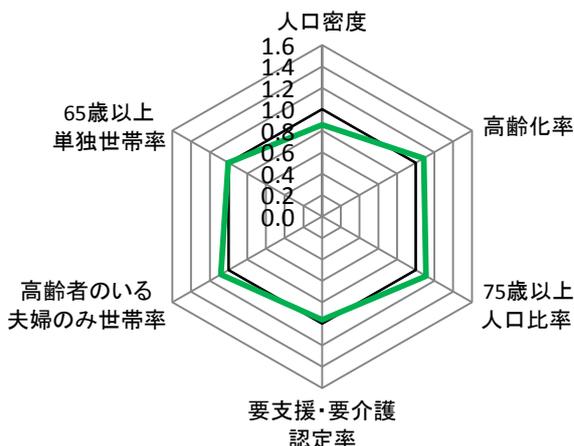
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	22,627 人	16	高齢化率	27.9%	8
65～74 歳人口	11,019 人	16	75 歳以上人口	11,608 人	16
65～74 歳人口比率	13.6%	8	75 歳以上人口比率	14.3%	8
要介護認定者数 ^{*1} (認定率)	5,251 人	15	認知症高齢者数 (65 才以上) ^{*2}	1,454 人	12
	23.7%	11	認知症高齢者数 (75 才以上) ^{*2}	1,266 人	12
65 歳以上単独世帯数 ^{*3} (世帯率)	6,019 世帯	15	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ^{*3} (世帯率)	3,774 世帯	16
	14.9%	10		9.4%	13

※1：平成 29 年 9 月末

※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年 4 月 1 日現在）

※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

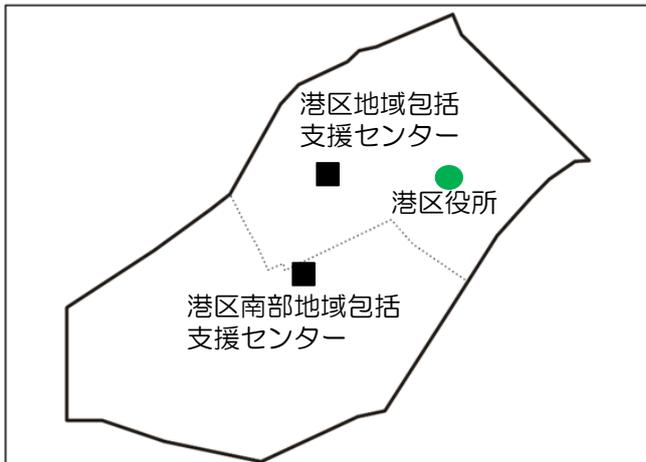
③港区の水準（大阪市 = 1 とした指数）



④港区の高齢化の特徴

- 高齢化率は 27.9% であり、大阪市平均に比べるとやや高い。
- 65～74 歳人口比率、75 歳以上人口比率とも 8 位と市平均よりもやや高い。
- 認定率は 11 位と中位にある。
- 65 歳以上単独世帯率は 10 位の一方、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は 13 位である。
- 人口の各指標の水準が、大阪市平均に比べてやや高く、高齢化が若干進んでいる区域である。

3. 港区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

- 高齢者要支援者の見守り支援
区民の健康増進等により、区民一人ひとりが健やかにいきいきと暮らせるまちづくりに向けた取組みを進めてきた。
- 今後もセーフティネットの充実、健康寿命の延伸に努め、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療と介護の関係機関の連携による包括的かつ継続的な在宅医療・介護サービスや、多様な事業主体による生活支援サービスが提供される、地域包括ケアシステムの構築に重点的に取り組む必要がある。

5. 地域資源情報

① 地域資源の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	2 か所	連合町会数（H27 国勢調査）	11 団体
総合相談窓口（ランチ）	3 か所	民生委員・児童委員	140 人
老人クラブ数	19 団体		

② 主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	44	介護老人福祉施設	4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	2			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	6			地域密着型通所介護	16
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	2	認知症対応型通所介護	2
通所介護	12			小規模多機能型居宅介護	3
通所リハビリテーション	6	介護療養型医療施設	1	認知症対応型共同生活介護	7
福祉用具貸与	7			地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	4			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	3			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	38				

③ 在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	0 か所	在宅療養支援歯科診療所	12 か所
在宅療養支援診療所	16 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	34 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

- 「いきいき百歳体操」サポーター交流会の開催
住民主体の介護予防活動として各地域で行っている「いきいき百歳体操」の活動拠点で、サポーターとして活動している方々が活動状況の情報を共有・交換する等、地域を越えて交流できる機会を設定し、高齢者にとって楽しく参加できる場として継続運営ができるよう支援している。
- 健康月間の取り組み
区民の健康の保持・増進を目的として、生活習慣の改善、健康づくりの実践を促進するため、11 月を区民健康月間と定め区内企業、関係団体や関係機関の参画を得て、協働して「港区健康フェスタ」をはじめとする取組みを進め、健康づくりへの動機づけの機会を提供するとともに区民が主体的に健康づくり、介護予防に取り組めるよう、運動や健康づくりの知識の普及、啓発を図っている。

4. 大正区

1. 大正区プロフィール

特徴	大正区は市の南西部に位置して大阪湾に面し、区の三方を木津川、尻無川、岩崎運河に囲まれ、臨海工業地帯として発展してきた。地下鉄延伸により、都心へのアクセスも充実し、隣接区との連絡橋として「千本松大橋」「新木津川大橋」「なみはや大橋」、区内連絡橋として大正内港に架かる「千歳橋」があり、スムーズな交通の循環が図られている。鶴浜沖埋立地での豊かなウォーターフロントを生かした、賑わいのある空間の創出と地域の活性化を促進する開発等、平成24年の区政施行80周年を経て、「住・職・遊」のバランスのとれた魅力あふれるまちづくりを目指している。
トピックス	大正区の複合施設「アゼリア大正」は、音楽ホール・スポーツセンター・温水プールなどを備え、区民の健康増進と文化交流及び区民スポーツ・コミュニティづくりの拠点として利用されている。区西部の北村地区には、総合医療施設・障がい者施設・介護保険施設などが展開され、医療・福祉ゾーンとしての整備が進んでいる。高齢社会に向けた施設として、区内には在宅福祉・総合相談窓口の拠点としての「大正区ふれあい福祉センター」と2カ所の地域包括支援センター・2カ所のランチが設置され在宅介護の支援に大きな役割を果たしている。

2. 統計からみる大正区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	64,355人	24	面積	9.43 km ²	9
人口密度	6,824人/km ²	21	世帯数	29,561世帯	24

②高齢化指標

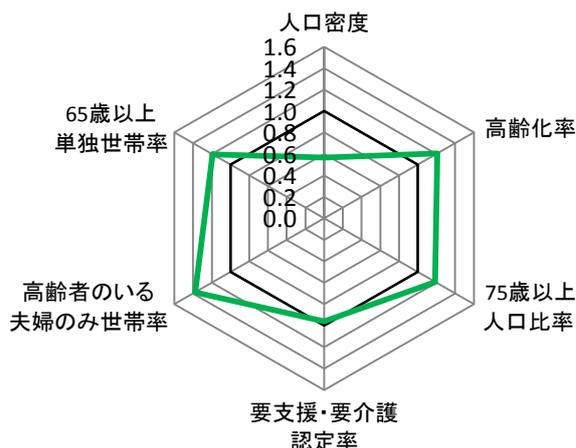
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	20,016人	18	高齢化率	31.1%	3
65～74歳人口	10,160人	18	75歳以上人口	9,855人	18
65～74歳人口比率	15.8%	3	75歳以上人口比率	15.3%	5
要介護認定者数 ^{*1} (認定率)	4,780人	18	認知症高齢者数(65才以上) ^{*2}	978人	18
	23.6%	12	認知症高齢者数(75才以上) ^{*2}	852人	18
65歳以上単独世帯数 ^{*3} (世帯率)	5,162世帯	20	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ^{*3} (世帯率)	3,470世帯	17
	17.7%	3		11.9%	1

※1：平成29年9月末

※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

※3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

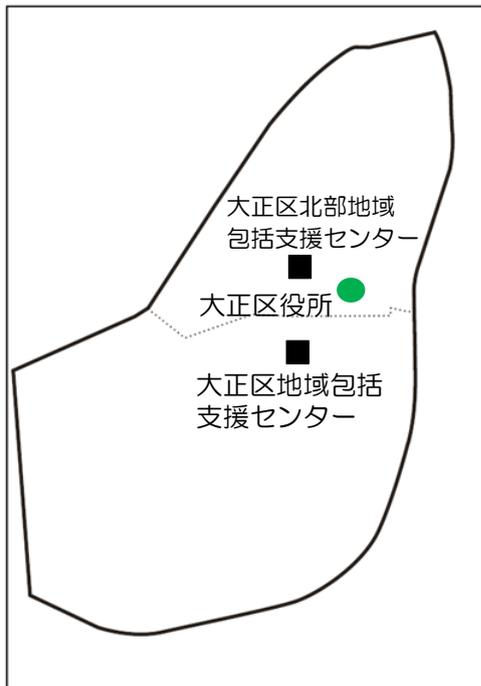
③大正区の水準（大阪市＝1とした指数）



④大正区の高齢化の特徴

- 高齢化率は31.1%と高く、24区中3位である。
- 65～74歳以上人口比率が3位、75歳以上人口比率は5位である。
- 65歳以上単独世帯率は3位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は1位となっている。
- 各指標の水準が、大阪市平均に比べて高く、高齢化が進んでいる区域であるが、要介護認定率は12位と中位である。

3. 大正区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

- 高齢者等に対する地域における見守り活動及び高齢者食事サービス事業の一体的な実施により、セーフティ機能の強化を図るとともに、活動を通して把握された要援護者の情報を地域福祉活動に役立てている。
- 「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」との連携により、両事業を効果的に実施し、区内の要援護者の支援のネットワークを張りめぐらせている。

5. 地域資源情報

①地域の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数
地域包括支援センター	2か所
総合相談窓口（ランチ）	2か所
老人クラブ数	11 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	10 団体
民生委員・児童委員	114 人

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	44	介護老人福祉施設	6	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	0			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	5			地域密着型通所介護	14
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	3	認知症対応型通所介護	2
通所介護	8			小規模多機能型居宅介護	4
通所リハビリテーション	5			認知症対応型共同生活介護	7
福祉用具貸与	6	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	5			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	3			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	34				

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	1 か所	在宅療養支援歯科診療所	8 か所
在宅療養支援診療所	15 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	33 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■いきいき百歳体操の推進

大正区では高齢者の介護予防に効果的とされている「いきいき百歳体操」の普及啓発の取り組みを平成 26 年度より実施しており、その実施にあたっては、各地域拠点での同体操の指導・助言に加え、体操参加者が安全に実施できるよう見守り等の活動を行う「いきいき百歳体操サポーター」を育成し、地域において円滑かつ効果的に普及啓発できるよう体制を整備している。

■地域支援会議の開催

大正区では高齢者を含む地域支援の一環として、関係機関間で地域課題を共有し課題解決に向けて一体的に支援する仕組みとして「地域支援会議」を開催し、社会福祉協議会、地域包括支援センター、ランチの職員、見守り推進員、保健福祉センター地域担当保健師などが小学校区毎に隔月参加し、地域の体制づくりに努めている。

5. 西淀川区

1. 西淀川区プロフィール

特徴	西淀川区は明治・大正・昭和の初期にかけ、水運の発達や鉄道・道路・橋梁などの急速な整備に伴い、紡績・機械・金属・鉄鋼・化学といった近代工業が集中し一大工業地帯を形成した。しかし、これらの工業地帯は一方では大気汚染の発生源となり、当区に深刻な公害問題を生じさせたが、いち早く発生源対策を鋭意推進してきた結果、一定の成果をあげた。また、河川汚濁のはげしかった大野川・中島大水道も市民生活の環境改善を図るため、緑あふれる緑陰道路として再生され、広く区民の憩いの場・健康づくりの場として活用されている。
トピックス	各地域における高齢者等の要援護者に対して地域住民自らが継続的・日常的に見守る仕組み（見守りネット倶楽部）を構築し、地域からの孤立を防ぎ、安全・安心して暮らし続けることのできる福祉コミュニティ豊かな街づくりを目指している。

2. 統計からみる西淀川区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	95,518 人	16	面積	14.22 km ²	4
人口密度	6,717 人/km ²	22	世帯数	43,985 世帯	18

②高齢化指標

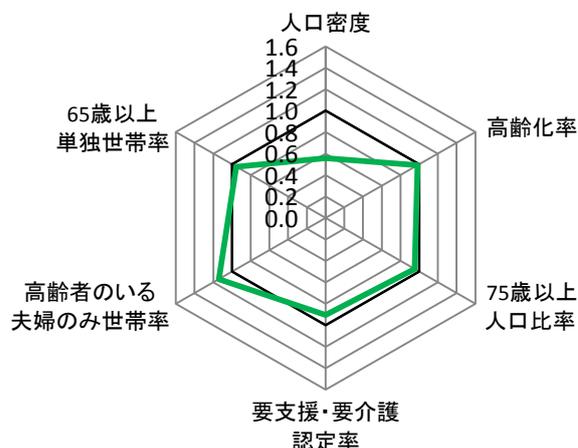
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	24,147 人	15	高齢化率	25.3%	14
65～74 歳人口	12,414 人	14	75 歳以上人口	11,734 人	14
65～74 歳人口比率	13.0%	11	75 歳以上人口比率	12.3%	14
要介護認定者数* ¹ (認定率)	5,386 人	14	認知症高齢者数(65才以上)* ²	1,221 人	15
	22.2%	16	認知症高齢者数(75才以上)* ²	1,088 人	16
65 歳以上単独世帯数* ³ (世帯率)	6,090 世帯	14	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数* ³ (世帯率)	4,227 世帯	13
	14.2%	13		9.9%	10

※1：平成 29 年 9 月末

※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年 4 月 1 日現在）

※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

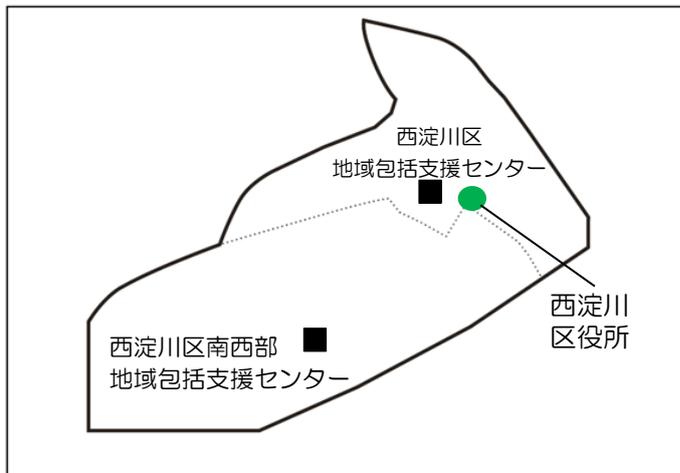
③西淀川区の水準（大阪市 = 1 とした指数）



④西淀川区の高齢化の特徴

- 高齢化率は 25.3%と 24 区中 14 位である。
- 65～74 歳人口比率は 11 位、75 歳以上人口比率は 14 位と平均的である。
- 65 歳以上単独世帯率は市水準に近く 13 位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は大阪市平均を若干上回り 10 位である。
- 認定率は 16 位と、市水準よりやや低めになっている。
- 比較的高齢化が進行していない区域である。

3. 西淀川区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

- 活力ある地域社会に向けて、地域活動協議会が互いに切磋琢磨し、区全体で発展していきけるような地域活動への支援を行っている。また、地域での「つながり」「きずな」の大切さを実感する取組みを行っている。
- 地域活動協議会の自立運営を推進するために、引き続き中間支援組織を効果的に活用し、地域団体間の連携・協働、開かれた組織運営、会計の透明性確保、ICTを利用した情報発信や広報による地域情報の効果的な発信、地域における担い手確保や人材育成、自主財源の獲得に向けた情報提供等の支援を行っている。

5. 地域資源情報

①地域資源の状況（平成29年3月31日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	2か所	連合町会数（H27国勢調査）	14団体
総合相談窓口（ランチ）	2か所	民生委員・児童委員	141人
老人クラブ数	18団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成29年9月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	52	介護老人福祉施設	5	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	2			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	14			地域密着型通所介護	17
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	5	認知症対応型通所介護	3
通所介護	14			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	6			認知症対応型共同生活介護	7
福祉用具貸与	8	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	5			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
短期入所療養介護	5			複合型サービス	1
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	38				

③在宅医療の状況（平成29年10月1日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	2か所	在宅療養支援歯科診療所	8か所
在宅療養支援診療所	24か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	42か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■地域における要介護者の見守りネットワーク強化事業

上記事業の中で、区独自に「地域福祉活動支援コーディネーター」を各地域に配置し、支援者の名簿を整理し、日常的・定期的な見守り活動を行っている。

■区内関係者会議の開催（西淀川区支え合う安心安全連絡会）

警察、消防署、区役所、区社会福祉協議会、地域包括支援センターが定期的に連絡会を開催し、情報交換するなど連絡を密にし、区内の高齢者の支援を行っている。

6. 東淀川区

1. 東淀川区プロフィール

特徴	東淀川区は大阪市の最北端に位置し、淀川・神崎川・安威川の大きな河川に囲まれ、吹田・摂津・守口の3市に隣接している。かつての農村地帯から、現在では市内で人口が3番目に多い区へと発展し、平成27年4月には区政90周年を迎えた。平成18年に「地下鉄今里筋線」が開業、現在は、阪急電鉄淡路駅周辺で連続立体交差事業（2027年度完成予定）や大阪外環状鉄道の整備事業（JRおおさか東線）（2019年春完成予定）、幹線道路や駅前の整備が進められ、大きくまちの姿が変わっていくところである。
トピックス	東淀川区では、平成以降「東淀川スポーツセンター」、「東淀川屋内プール」、「くにじまスポーツ」、「東淀川区在宅サービスセンター（ほほえみ）」、「淡路地域福祉・生活支援センター」がオープンしている。 平成28年12月に策定した東淀川区地域保健福祉計画に基づき、地域や行政をはじめ、地域に関わる全ての人の力をあわせて、支え合い、助け合う「自助」・「共助」・「公助」の考え方を理解して実践していくことで「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」のまちづくりをめざしている。

2. 統計からみる東淀川区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	175,827人	3	面積	13.27 km ²	5
人口密度	13,250人/km ²	15	世帯数	95,174世帯	2

②高齢化指標

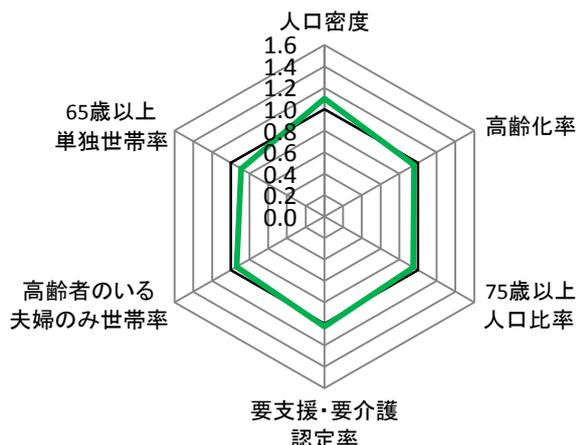
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	43,414人	3	高齢化率	24.7%	15
65～74歳人口	21,874人	4	75歳以上人口	21,540人	4
65～74歳人口比率	12.4%	15	75歳以上人口比率	12.3%	15
要介護認定者数 ^{*1} (認定率)	10,521人	5	認知症高齢者数(65才以上) ^{*2}	3,050人	3
	25.2%	8	認知症高齢者数(75才以上) ^{*2}	2,598人	3
65歳以上単独世帯数 ^{*3} (世帯率)	12,219世帯	5	65歳以上高齢者のいる夫婦 のみ世帯数 ^{*3} (世帯率)	7,480世帯	3
	13.2%	15		8.1%	16

※1：平成29年9月末

※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

※3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

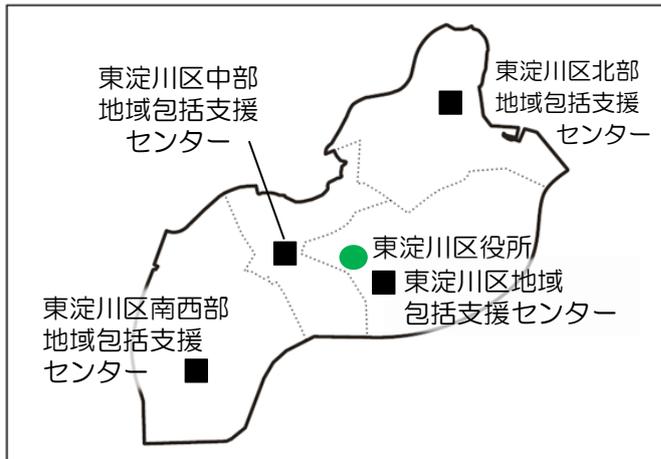
③東淀川区の水準（大阪市＝1とした指数）



④東淀川区の高齢化の特徴

- 高齢化率は24.7%と24区中15位である。
- 65～74歳人口比率と75歳以上人口比率も15位と同位である。
- 65歳以上単独世帯率は15位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は16位となっている。
- 各指標の水準が、全体的に大阪市平均に比べて若干低い区域であるが、認定率は8位とやや高くなっている。

3. 東淀川区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

- 「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」に向けて、地域力の向上をめざすとともに、誰もが安心して健康でこころ豊かに生き生きと暮らし、人権が尊重され、災害に強く安全かつ安心な、快適で活力とにぎわいのあるまちづくりを進めている。
- 地域に関わる全ての人々が力をあわせて、共に生き共に支え合い、地域での「自助」「共助」による地域コミュニティが確立され、誰もが安全・安心してくらするまちづくりを進めている。

5. 地域資源情報

①地域資源の状況（平成29年3月31日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	4か所	連合町会数（H27 国勢調査）	17 団体
総合相談窓口（ランチ）	5か所	民生委員・児童委員	248 人
老人クラブ数	89 団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成29年9月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	119	介護老人福祉施設	9	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2
訪問入浴介護	3			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	26			地域密着型通所介護	45
訪問リハビリテーション	1	介護老人保健施設	3	認知症対応型通所介護	2
通所介護	30			小規模多機能型居宅介護	7
通所リハビリテーション	5	介護療養型医療施設	0	認知症対応型共同生活介護	14
福祉用具貸与	20			地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	9			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	3			複合型サービス	2
特定施設入居者生活介護	7				
居宅介護支援	86				

③在宅医療の状況（平成29年10月1日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	1 か所	在宅療養支援歯科診療所	15 か所
在宅療養支援診療所	18 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	72 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

- 地域別保健福祉計画の策定にかかる地域への支援
だれもが地域で安心して自分らしく暮らしていくために、「自助・共助・公助」それぞれの考え方や役割を明確にしながら、地域の課題解決や特色を活かした地域保健・地域福祉を推進する地域別の保健福祉計画の策定に向けて支援している。
- 東淀川区ライフステーション事業
区内に2か所の見守りの拠点となるライフステーションを設置し、日常的な生活相談や専門相談、見守りキーホルダー事業などを実施している。
- 複合課題世帯への支援
複合課題世帯に対して、区役所各担当が連携し、世帯単位で支援する体制の強化、充実を行っている。

7. 東成区

1. 東成区プロフィール

特徴	東成区は市の東部に位置し、北は城東区、東は東大阪市、南は生野区、西は中央区、天王寺区と接している。主要道路の集まる今里交差点は、当区のほぼ中心に位置し、区役所をはじめ、官公署、各種金融機関が数多く集まり、区の発展の拠点となっている。交通機関は、東西に地下鉄2本、南北に地下鉄1本、市バスも区内7路線、その他JR環状線、近鉄線があり、区民の重要な交通手段となっている。生野区、城東区、鶴見区と共に大阪市東部における工業地帯を形成し地域の発展に大きく貢献してきたが、そのほとんどが中小零細企業である。平成27年4月には、東成区制90周年を迎えた。節目の年を迎え、ますます区民・地域、そして行政が一体となって住みよいまち「ひがしなり」のさらなる発展にむけた取組を進めている。
トピックス	東成区は地域のつながりが強く、さまざまな地域福祉活動が展開されている。高齢者等と地域をつなぐ「おまもりネット事業」は東成区独自の取組みとして区内全域で実施され、成果をあげている。東成区では平成25年度よりこうした地域の取組みを活かして要支援者のセーフティネットの構築を進めるとともに、平成29年2月からはひとり暮らしの高齢者の支援の一環として、関係機関と協働してあらたに緊急時安否確認（かぎ預かり）事業を開始した。（大阪市内では初めての取組み）

2. 統計からみる東成区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	81,881人	18	面積	4.54 km ²	23
人口密度	18,035人/km ²	4	世帯数	41,718世帯	19

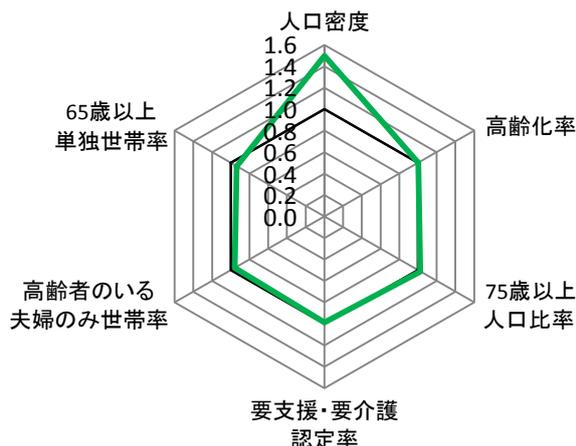
②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	21,154人	17	高齢化率	25.8%	11
65～74歳人口	10,324人	17	75歳以上人口	10,830人	17
65～74歳人口比率	12.6%	14	75歳以上人口比率	13.2%	12
要介護認定者数 ^{※1} (認定率)	5,070人	16	認知症高齢者数(65才以上) ^{※2}	1,049人	17
	24.2%	10	認知症高齢者数(75才以上) ^{※2}	947人	17
65歳以上単独世帯数 ^{※3} (世帯率)	5,518世帯	16	65歳以上高齢者のいる夫婦	3,282世帯	18
	13.9%	14	のみ世帯数 ^{※3} (世帯率)	8.3%	15

※1：平成29年9月末 ※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

※3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

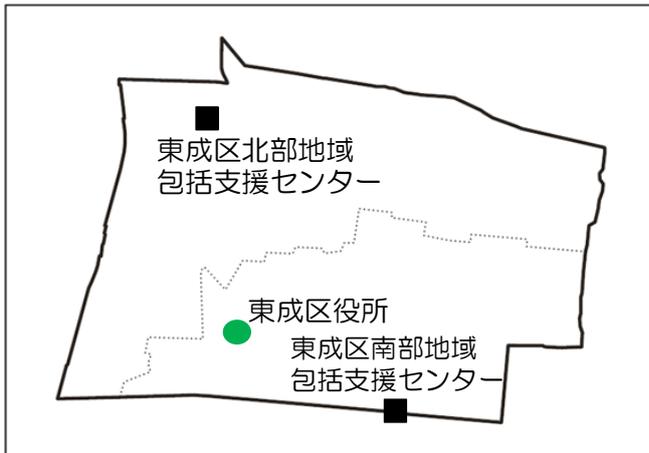
③東成区の水準（大阪市=1とした指数）



④東成区の高齢化の特徴

- 高齢化率は25.8%と24区中11位となっている。
- 65歳以上単独世帯率は14位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は15位である。
- 認定率は10位となっている。
- 各指標により高低はあるものの、高齢化の水準は全体的に大阪市平均に近い。

3. 東成区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

- 各校下に配置した地域福祉活動サポーターを中心に高齢者食事サービス等の地域福祉活動を実施するとともに、「おまもりネット事業」等により地域のつながりづくり推進している。
- だれもが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、在宅医療・介護連携の推進はもとより、多様な主体のネットワークにより「地域包括支援システム」の構築をめざしている。
- 地域の健康教室やイベントの開催により健康づくりの啓発活動に取り組んでいる。

5. 地域資源情報

①地域資源の状況（平成29年3月31日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	2か所	連合町会数（H27 国勢調査）	11 団体
総合相談窓口（ブランチ）	2か所	民生委員・児童委員	133 人
老人クラブ数	20 団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成29年9月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	67	介護老人福祉施設	4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	2			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	16			地域密着型通所介護	27
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	3	認知症対応型通所介護	4
通所介護	14			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	4	介護療養型医療施設	0	認知症対応型共同生活介護	7
福祉用具貸与	9			地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	4			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	3			複合型サービス	1
特定施設入居者生活介護	5				
居宅介護支援	46				

③在宅医療の状況（平成29年10月1日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	3か所	在宅療養支援歯科診療所	18か所
在宅療養支援診療所	35か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	60か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

- 「おまもりネット事業」を活用した高齢者・障がい者等支援セーフティネット構築事業
「おまもりネット事業」（地域とのつながりづくりのために各校下で実施している活動で、「おまもりネット手帳」「カード」を無料で発行している。）等の地域福祉活動を支援し、要支援者のセーフティネット構築を進めている。
- 緊急時安否確認（かぎ預かり）事業
東成区にお住まいのひとり暮らしの高齢者が安心して暮らせるよう、事前にかぎを預かり、緊急時にかぎを使って家屋に入り、安否を確認する。高齢者福祉関係機関との共同体で実施している。
- いきいき百歳体操
参加者のモチベーション維持と各自の健康管理を目的に「百歳体操出席手帳」を作成し、出席シールとともに配布している。

8. 生野区

1. 生野区プロフィール

特徴	生野区は大阪市の東南部に位置し、東は東大阪市に、北は近畿日本鉄道を区界に東成区に、西はJR環状線を区界に天王寺区に、南は国道25号線および平野川を区界に阿倍野区、東住吉区、平野区にそれぞれ接しており、区の南北に今里筋と内環状線、東西に勝山通りが通っている。また、文化的には万葉の時代からの歴史や伝承が残されている土地であり、区名の「生野」は聖徳太子ゆかりの「生野長者」にちなんで付けられており、現在もだんじり・地藏盆など地域伝統行事が大切に守られて、下町の良さを残した人情味豊かなまちである。
トピックス	生野区では、少子高齢化の傾向が顕著な地域であり、単身高齢者の増加や児童・生徒数の減少、また製造業の企業数も減少傾向にあるなど、まちの活力が失われつつある一面もあるが、その一方で、古くからのコミュニティがなお生き続けている、あたたかく区民同士の絆やボランティア精神の強い住みやすいまちでもある。生野区では、『居場所』と『持ち場』のあるまちへを方針に掲げ、現在の施策の方向性を充実させながら、時には変化に対応しながら、まちの課題解決と未来に向けたまちづくりを進めている。

2. 統計からみる生野区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	129,693人	6	面積	8.37km ²	13
人口密度	15,495人/km ²	10	世帯数	65,351世帯	8

②高齢化指標

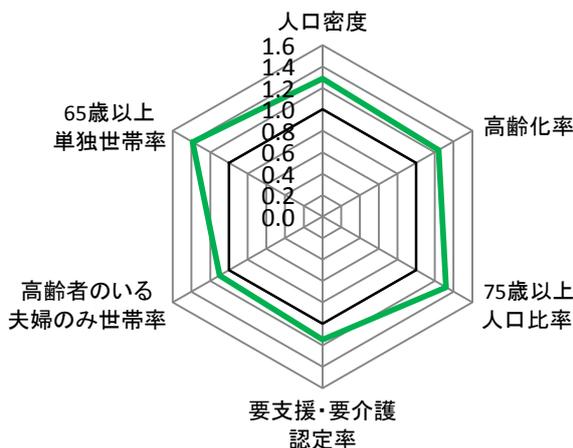
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	41,359人	7	高齢化率	31.9%	2
65～74歳人口	19,299人	7	75歳以上人口	22,059人	3
65～74歳人口比率	14.9%	4	75歳以上人口比率	17.0%	2
要介護認定者数 ^{*1} (認定率)	10,763人	4	認知症高齢者数(65才以上) ^{*2}	2,952人	4
	28.2%	2	認知症高齢者数(75才以上) ^{*2}	2,496人	4
65歳以上単独世帯数 ^{*3} (世帯率)	13,108世帯	3	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ^{*3} (世帯率)	6,029世帯	8
	20.6%	2		9.5%	12

※1：平成29年9月末

※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

※3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

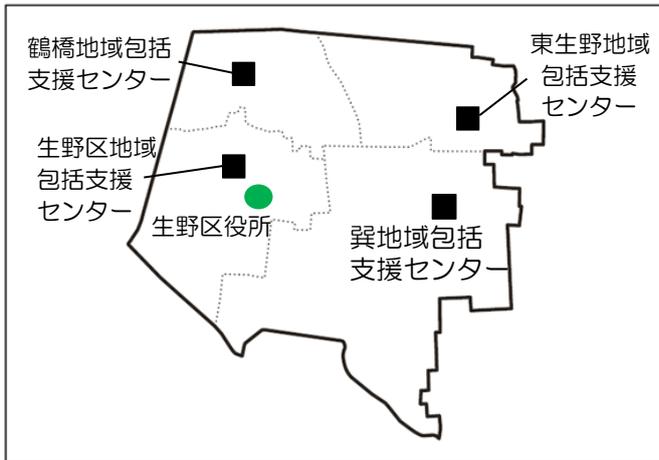
③生野区の水準（大阪市＝1とした指数）



④生野区の高齢化の特徴

- 高齢化率は31.9%と24区中2位となっている。
- 75歳以上人口比率は17.0%と24区中2位となっている。
- 65歳以上単独世帯率は24区中2位となっている一方、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は12位と中位にある。
- 認定率が2位となっている。
- 各指標の水準が、全体的に大阪市平均を上回っており、高齢化が進んでいる区域である。

3. 生野区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

- 生野区では、『「居場所」と「持ち場」のまちへ』をキーワードとして、地域包括ケアシステムの構築を進めている。
- 地域住民と支援機関による小圏域会議や多職種が参画する各種会議体と、区地域ケア推進会議との有機的な連携により地域ケア会議を推進している。
- 行政の画一的な制度では対応できず真に支援を必要とする人とボランティアのマッチングを行う「ご近“助”パワフルサポート」事業を展開している。
- 生活支援コーディネーターと協議体との連携により、百歳体操を始めとした高齢者自身が自立的に取り組む「居場所」と「持ち場」を兼ねた社会資源の発掘・創出等の生活支援サービスの充実・強化を進めている。

5. 地域資源情報

①地域資源の状況（平成29年3月31日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	4か所	連合町会数（H27国勢調査）	19団体
総合相談窓口（ランチ）	5か所	民生委員・児童委員	241人
老人クラブ数	45団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成29年9月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	183	介護老人福祉施設	10	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	17			地域密着型通所介護	51
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	5	認知症対応型通所介護	5
通所介護	26			小規模多機能型居宅介護	10
通所リハビリテーション	8			認知症対応型共同生活介護	17
福祉用具貸与	21	介護療養型医療施設	3	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	13			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
短期入所療養介護	7			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	12				
居宅介護支援	108				

③在宅医療の状況（平成29年10月1日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	5か所	在宅療養支援歯科診療所	16か所
在宅療養支援診療所	46か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	79か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■多職種連携による地域包括ケアの推進

認知症高齢者支援ネットワーク会議が中心となり、地域住民への認知症の周知啓発として講演会・シンポジウムの開催や認知症早期発見ツール「STOP DO!」の発行、また、「いくみんお守りキーホルダー」事業の展開など、多職種が連携した独自の取組みを行っている。

■区民の健康寿命延伸のための意識啓発

いつまでもいきいきと自分らしい生活を送ることができるよう、区民の健康寿命の延伸を目的に、がん検診などの検診の重要性の理解促進や習慣化をめざした生野区マスコット「いくみん」を活用した広報啓発や、区民の健康づくり等の意識の高揚・定着をめざした取組みを推進している。

9. 旭区

1. 旭区プロフィール

特徴	旭区は大阪市の東北部に位置し、北に淀川を望み、西に城東貨物線、南に国道163号線、さらに東は守口市とその境を接している。市内でも有名な千林商店街があり、また、市バス路線に加え、地下鉄谷町線や京阪電鉄が都心に直結しており、交通が便利で、生活するのに静かで明るい雰囲気を持つ快適な住宅区である。主要道路交通網としては、淀川ワンドに華麗な斜張橋を映している菅原城北大橋と、その東に位置しこれも斜張橋で有名な豊里大橋が、市北部と都心、市南部を自動車交通で結ぶ要の役割を果たしている。
トピックス	旭区では、地域コミュニティ関連施設も充実し、旧京街道や江野川筋遊歩道の整備が進むとともに、公園景観との調和を図った地下式構造の旭スポーツセンターは、地域スポーツの振興の拠点としてその役割を果たしている。城北川に隣接する地域にある、区民センター、芸術創造館、図書館などを併設した複合施設は、地域コミュニティ活動の拠点として、大きな役割を担っている。さらに、急速に進展する高齢社会に対応するため、保健福祉サービスの総合的・効果的な提供を図る施設である在宅サービスセンターがその拠点として必要なサービスや情報提供を行っている。

2. 統計からみる旭区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	91,069人	17	面積	6.32 km ²	17
人口密度	14,410人/km ²	12	世帯数	44,128世帯	17

②高齢化指標

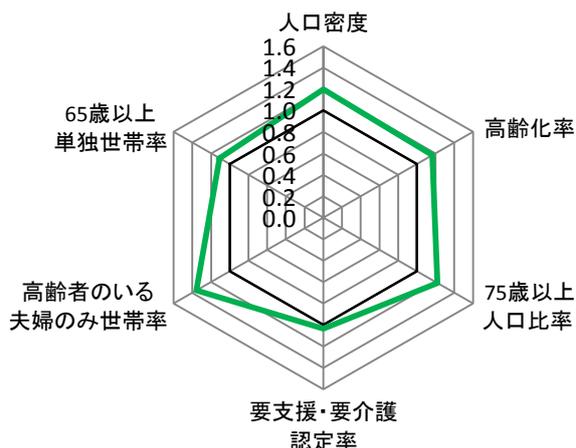
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	27,313人	11	高齢化率	30.0%	4
65～74歳人口	12,982人	13	75歳以上人口	14,330人	11
65～74歳人口比率	14.3%	5	75歳以上人口比率	15.7%	3
要介護認定者数 ^{*1} (認定率)	6,881人	11	認知症高齢者数(65才以上) ^{*2}	1,615人	9
	25.4%	7	認知症高齢者数(75才以上) ^{*2}	1,436人	9
65歳以上単独世帯数 ^{*3} (世帯率)	7,212世帯	11	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ^{*3} (世帯率)	5,124世帯	9
	16.5%	7		11.7%	3

※1：平成29年9月末

※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

※3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

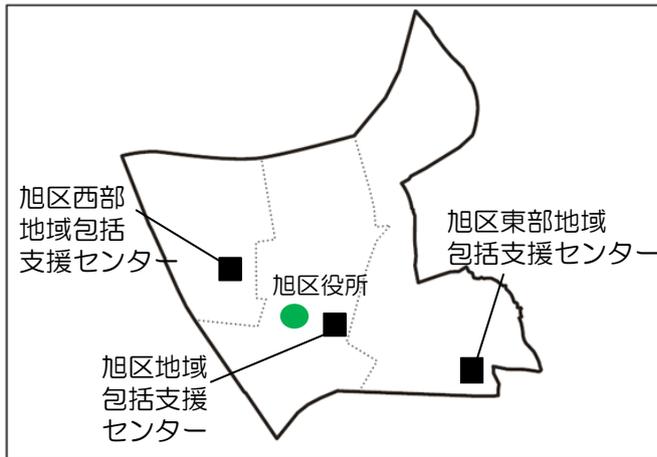
③旭区の水準（大阪市=1とした指数）



④旭区の高齢化の特徴

- 高齢化率は30.0%と24区中で4位である。65～74歳人口比率は5位であるが、75歳以上人口比率は3位である。
- 65歳以上単独世帯率は7位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は3位となっている。
- 認定率は7位である。
- 各指標の水準が、全体的に大阪市平均に比べて高く、高齢化が進行している区域である。

3. 旭区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

- 活力ある地域社会づくりをめざし、地域の様々な活動主体と協働して、「安全で安心できる旭区づくり」「元気で活力ある旭区づくり」「やさしくて、あたたかい旭区づくり」を推進している。
- 高齢者の介護予防を地域住民とともに「いきいき百歳体操」を活用し、身近な地域で継続的に実施している。
- 身体を鍛え、頭を使う認知症予防プログラムを活用し、区民に働きかけている。高齢者自らも担い手となり、支援するための講座開催に取り組んでいる。

5. 地域資源情報

① 地域資源の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	3か所	連合町会数（H27 国勢調査）	10 団体
総合相談窓口（プランチ）	2か所	民生委員・児童委員	139 人
老人クラブ数	62 団体		

② 主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	78	介護老人福祉施設	7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	10			地域密着型通所介護	25
訪問リハビリテーション	1	介護老人保健施設	4	認知症対応型通所介護	2
通所介護	23			小規模多機能型居宅介護	3
通所リハビリテーション	4			認知症対応型共同生活介護	6
福祉用具貸与	12	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	7			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	4			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	50				

③ 在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	3か所	在宅療養支援歯科診療所	12 か所
在宅療養支援診療所	33 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	44 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

- 健康に関する取組み
健康フェスタ・食育フェスタの開催や、区民まつりにおいて「明日への健康コーナー」で生活習慣病予防及び重症化予防の啓発、また、振興町会等と連携し、不定期に健康講座を実施している。
- いきいき百歳体操の推進
いきいき百歳体操は、平成 21 年からスタートし、年 1 回「旭区いきいき百歳体操だより」を発行し、全体交流会を開催している。また、90 歳以上の参加者に表彰を行い、参加者の意欲向上の取組を行っている。
- 認知症予防のための講演会・普及・啓発の実施
平成 26 年から認知症予防のための市民啓発として認知症予防講演会、自主的な認知症予防活動支援のための地域型認知症予防プログラム等を実施している。
- 高齢者への歯科健康診査事業
旭区歯科医師会と協働で寝たきり高齢者への歯科健康診査事業を平成 29 年 10 月からスタートし、実施している。

10. 住吉区

1. 住吉区プロフィール

特徴	住吉区は大阪市の最南部に位置し、大和川を隔てて堺市に接している。区内には、「住吉造り」といわれる神社建築史上特異な様式をもち、反橋(太鼓橋)や住吉踊で有名な「住吉大社」や、「吾彦山大聖観音寺」をはじめ多くの由緒ある神社仏閣や史跡がある。区民の憩いの場所として、桜で名高い万代池公園に加え、長居公園(東住吉区)や住吉公園(住之江区)にも恵まれており、都心への交通至便な住宅区としても、公営住宅の高層化や新しいマンションが建設され、都市整備が進められている。
トピックス	住吉区では、平成12年6月に、住吉スポーツセンター・住吉屋内プールが完成し、区民の福祉・健康増進に寄与している。また、平成19年11月には南住吉3丁目15番街区(旧沢之町公園)に、広域避難地域などの機能も備えた、あらたな地域コミュニティの拠点として、住吉区複合施設が完成し、住吉区民センター・住吉区役所・住吉区保健福祉センター・水道局住吉サービスステーション(※現在は閉鎖)住吉図書館が整備された。

2. 統計からみる住吉区の状況(基準日:平成29年10月1日現在)

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	153,350人	5	面積	9.40 km ²	10
人口密度	16,314人/km ²	7	世帯数	72,401世帯	6

②高齢化指標

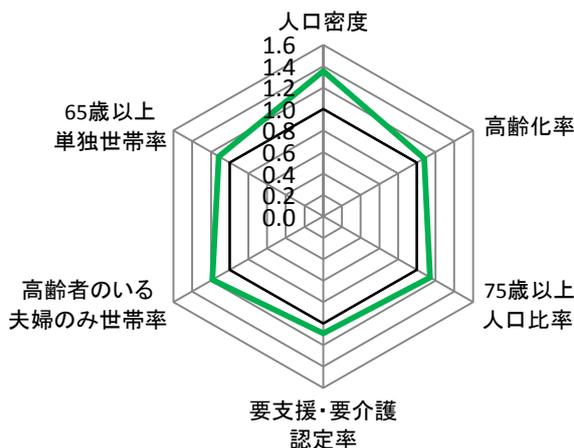
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	42,580人	5	高齢化率	27.8%	9
65~74歳人口	20,017人	6	75歳以上人口	22,563人	2
65~74歳人口比率	13.1%	10	75歳以上人口比率	14.7%	7
要介護認定者数 ^{*1} (認定率)	11,244人	3	認知症高齢者数(65才以上) ^{*2}	2,578人	5
	26.8%	4	認知症高齢者数(75才以上) ^{*2}	2,273人	5
65歳以上単独世帯数 ^{*3} (世帯率)	11,905世帯	6	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ^{*3} (世帯率)	7,334世帯	4
	16.6%	5		10.2%	8

※1:平成29年9月末

※2:認知症高齢者数は居宅のみ(平成29年4月1日現在)

※3:国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」(平成27年10月1日現在)

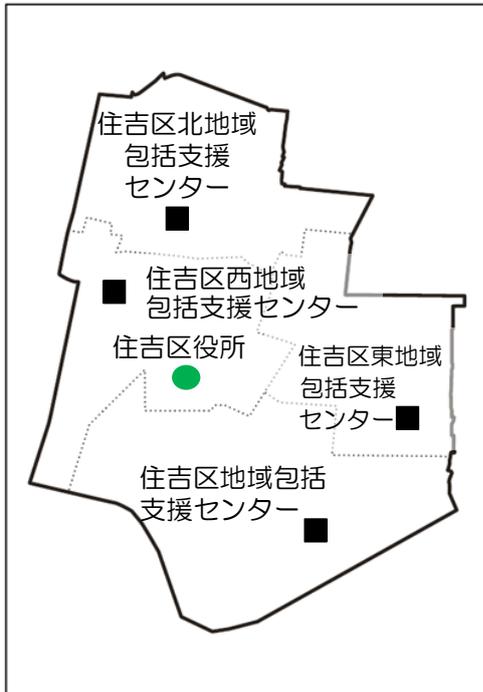
③住吉区の水準(大阪市=1とした指数)



④住吉区の高齢化の特徴

- 高齢化率は27.8%と24区中9位である。
- 65~74歳人口比率が10位、75歳以上人口比率は7位となっている。
- 65歳以上単独世帯率は5位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は8位と市水準よりである。
- 認定率は4位となっている。
- 各指標の水準は、全体的に大阪市の水準に比べて高く、高齢化が進んでいる区域である。

3. 住吉区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

- 区として『自立した区民・地域の「和」で創るまち』の実現をめざしている。
- 地域における災害時の支援と日常的な見守りを一体的に対応するシステムの構築を推進。
- 区役所内に「地域見守り相談室」を設置し、区内の4つの包括圏域ごとにコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置。身近な地域での相談や支援を行なっている。
- 地域、支援関係機関、ライフライン業者等と連携して、孤立死防止のためのネットワーク構築に取り組んでいる。

5. 地域資源情報

①地域の状況（平成29年3月31日現在）

区分	件数
地域包括支援センター	4か所
総合相談窓口（ランチ）	5か所
老人クラブ数	47団体
連合町会数（H27国勢調査）	12団体
民生委員・児童委員	220人

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成29年9月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	118	介護老人福祉施設	7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	5			夜間対応型訪問介護	2
訪問看護	22			地域密着型通所介護	33
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	3	認知症対応型通所介護	9
通所介護	21			小規模多機能型居宅介護	6
通所リハビリテーション	8			認知症対応型共同生活介護	15
福祉用具貸与	14	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	8			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	3			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	11				
居宅介護支援	88				

③在宅医療の状況（平成29年10月1日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	2か所	在宅療養支援歯科診療所	13か所
在宅療養支援診療所	39か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	89か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■住吉区見守り支援システム

災害時要援護者台帳登録と地域住民による日常的な見守り活動を一体化。包括圏域ごとにコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し区役所内に「地域見守り相談室」を設置し取りまとめを行っている。

■住吉どらやきの会（医療介護連携を支える会）

大阪急性期医療センターを中心に区内6病院とケアマネジャーの連携づくりのため発足した自主会。3師会、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、行政も加わり病院から在宅医療の包括的、継続的な支援体制づくりに向けたフィールドとなっている。

■高齢者家族の介護者の支援

男性介護者のための「ほっこりサロン」、高齢の親を介護する息子さんと娘さんのための介護者の集い、講演会やイベント時に被介護者を世話する「いきいきライフサポーター」の養成、ケアルームを設置運営している。

11. 東住吉区

1. 東住吉区プロフィール

特徴	東住吉区は大阪市南部に位置し、大阪市で8番目の大きさをもつ行政区画であり、東は平野区、西は阿倍野区・住吉区、北は生野区に接し、南は大和川をはさんで松原市に隣接している。区域の約90%は閑静な住宅地域で、JR阪和線、近鉄南大阪線、地下鉄谷町線の駅付近は商業地域として発展しており、特に駒川商店街は大阪市内でも有数の商店街として知られている。区の北東部には、大阪南部の「市民の台所」として、中央卸売市場東部市場があり、食品流通の拠点として大きな役割を果たしている。南西部の一角を占める長居公園は、文化とスポーツの憩いの場として、花と緑の相談の場として、多くの市民から親しまれている。
トピックス	東住吉区の南部には、東住吉スポーツセンターなどがあり、地域に親しまれ利用されている。高齢者の保健・医療・福祉サービスの総合的、効果的な提供を図る施設として、区在宅サービスセンター（愛称：さわやかセンター）と全ての中学校下（7校下）には地域在宅サービスステーションがあり、在宅支援事業をはじめ、さまざまな支援事業が行われ、高齢者にとって住みやすい街づくりが着々と進められている。

2. 統計からみる東住吉区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	126,161人	8	面積	9.75 km ²	8
人口密度	12,940人/km ²	16	世帯数	58,747世帯	10

②高齢化指標

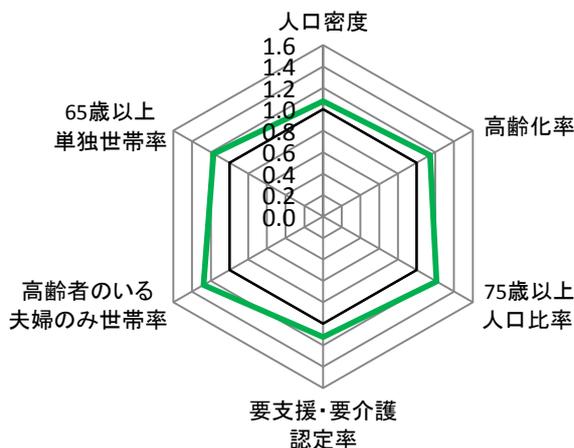
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	37,181人	8	高齢化率	29.5%	6
65～74歳人口	17,426人	9	75歳以上人口	19,756人	8
65～74歳人口比率	13.8%	6	75歳以上人口比率	15.7%	4
要介護認定者数 ^{*1} (認定率)	10,383人	6	認知症高齢者数(65才以上) ^{*2}	2,461人	6
	27.6%	3	認知症高齢者数(75才以上) ^{*2}	2,143人	6
65歳以上単独世帯数 ^{*3} (世帯率)	10,036世帯	8	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ^{*3} (世帯率)	6,364世帯	7
	17.4%	4		11.0%	5

※1：平成29年9月末

※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

※3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

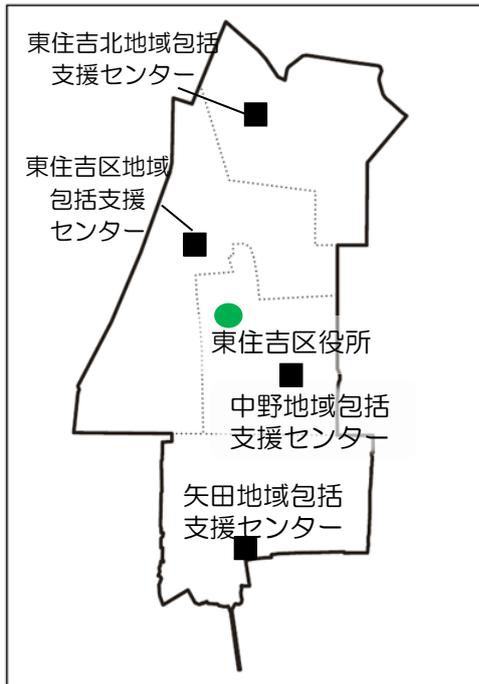
③東住吉区の水準（大阪市＝1とした指数）



④東住吉区の高齢化の特徴

- 高齢化率は29.5%と24区中6位である。
- 65～74歳人口比率は6位、75歳以上人口比率は4位である。
- 65歳以上単独世帯率は4位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は5位である。
- 認定率が3位となっている。
- 各指標の水準が、全体的に大阪市の水準に比べて高く、高齢化が進んでいる区域である。

3. 東住吉区の日常生活圏図



4. 地域の状況

- 健康的で、安心して老いていける、だれもが“しあわせに”暮らせるまちをめざしている。
- 多様な“困りごと”をおたがいさまの意識で支えあえるよう、身近な地域でつなぐしくみづくりを推進している。
- 有償による助け合い活動制度の導入、要援護者名簿を活用した地域における平時の見守りと災害時の避難支援への備えを強化、認知症高齢者等徘徊者の保護のためのメール配信システムの活用に取り組んでいる。

5. 地域資源情報

①地域の状況（平成29年3月31日現在）

区 分	件 数
地域包括支援センター	4か所
総合相談窓口（ランチ）	3か所
老人クラブ数	27 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	14 団体
民生委員・児童委員	214 人

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成29年9月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	146	介護老人福祉施設	7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	1
訪問看護	22			地域密着型通所介護	43
訪問リハビリテーション	3	介護老人保健施設	7	認知症対応型通所介護	4
通所介護	27			小規模多機能型居宅介護	5
通所リハビリテーション	8			認知症対応型共同生活介護	15
福祉用具貸与	25	介護療養型医療施設	1	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	8			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
短期入所療養介護	8			複合型サービス	1
特定施設入居者生活介護	6				
居宅介護支援	108				

③在宅医療の状況（平成29年10月1日現在）

区 分	件 数	区 分	件 数
在宅療養支援病院	3か所	在宅療養支援歯科診療所	25か所
在宅療養支援診療所	40か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	58か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■「とんずみサポート」

区内の高齢者、障がい者等を対象に、公的な福祉サービスでは対応できない日常生活の“ちょっとした困りごと”について、有償でサポートする住民同士の支え合い活動を実施。

■「高齢者食事サービス事業（ふれあい型）」

在宅の一人暮らし高齢者等を対象に、高齢者の健康の増進と地域社会との交流を目的として、ボランティアが地域施設において会食等の機会を提供する活動への補助を実施。

■「はつらつ脳活性化元気アップ事業」

生活習慣病予防から認知症予防となる健康講座を住民主体で行い、認知症にならない、認知症になっても安心して暮らせる地域をめざした活動。各地域にリーダーを育成し事業展開する中で、世代間交流も意識し、キッズサポーターも養成して、安心して暮らせるまちに繋げる。